

## JNTO主催「日本旅行セミナー」の開催

シンガポール事務所

JNTOシンガポール事務所は、当事務所の協力の下、2011年4月19日（火）、26日（火）、5月12日（木）及び19日（木）（計4回、1回あたり約2～2.5時間）、シンガポール市内において「日本旅行セミナー（Seminar on Revival of Japan Bound Tourism 2011）」を開催した。同セミナーの主な参加者は、当地の旅行会社の日本旅行企画担当者や航空会社職員等であり、目的は、東北大震災で落ち込む日本訪問客を回復するための方策等について意見を交換すること、並びに新たな訪問先候補として日本各地の観光名勝などを紹介することであった。

セミナーでは、各回ごとに、ビジット・ジャパン大使などの当地旅行業界の著名人がスピーカーとして招かれ、震災後の日本の状況や日本旅行を盛り立てていくための方策等について意見交換を行った。また、当事務所からも、職員がスピーカーとして順次参加し、中部地方（担当：小松所長補佐）、九州地方（担当：中村次長、片野田所長補佐、中村所長補佐）及び関西地方（担当：菱田調査役）について、各地の見どころや特産品等について紹介を行った。

JNTOの統計によれば、2010年のシンガポール人訪日者数は、18万1千人（対前年比24.6%増）となっている。訪日目的についてシンガポール人訪日者の約80%が観光を目的としており、また、旅行形態については約70%が個人旅行の形態である。宿泊都道府県別シェアについては、東京36%、北海道23%、千葉12%、大阪9%の順になっている。

折しも、5月12日（木）、シンガポール外務省は、日本に対する渡航自粛勧告について、福島県、宮城県及び岩手県を除き解除した。これを契機に、同セミナーの参加者の協力を得つつ、セミナーでの意見交換や各人の発表内容を踏まえ、早期により多くのシンガポール人がまずは日本を訪問し、更には東京や北海道以外の各地名勝をも訪問するよう働き掛けていきたいものである。



熱心に聞入る参加者（5月12日）



九州地方紹介（中村次長）

なお、同セミナー各回の内容は、以下のとおり。

●第1回（4月19日（火）、参加者数：52名）

- ①開会挨拶 JNTOツカガポール事務所 足立基成所長
- ②来賓メッセージ ビジット・ジャパン大使 Mr. Ven K. Nishimura
- ③発表「日本の現在の状況について(Current situation in Japan)」  
A.I.S.C.代表取締役 Mr. Micky Gan
- ④発表「（日本）旅行計画の紹介(Introduction of travelling plan)」  
ビジット・ジャパン大使 Mr. George Lim

●第2回（4月26日（火）、参加者数：40名）

- ①発表「日本の現在の状況について(Current situation in Japan)」  
Tokyo Asean Service Ms. Doreen Tay  
JTB Pte Ltd 総括マネージャー Ms. Ow Yong Kit Fun
- ②発表「次のホットな訪問先1（Upcoming and Hot Destinations Part 1）」  
・中部地方の紹介 CLAIRツカガポール事務所 小松所長補佐

●第3回（5月12日（木）、参加者数：44名）

- ①発表「次のホットな訪問先2（Upcoming and Hot Destinations Part 2）」
  - ・九州地方の紹介 CLAIRツカガポール事務所 中村次長、片野田所長補佐、中村(真)所長補佐
  - ・広島県の紹介 (公財)ひろしま産業振興機構 碓知子代所長補佐
  - ・沖縄県の紹介 沖縄県香港事務所 山城憲一郎所長
  - ・プリンスホテルグループ SEIBU SINGAPORE PTE LTD Ms Jihee Kim
  - ・大阪市の紹介 大阪市シンガポール事務所 田口陽一郎所長
  - ・兵庫県の紹介 CLAIRツカガポール事務所 菱田調査役

●第4回（5月19日（木）、参加者数：49名）

- ①挨拶 JNTOツカガポール事務所 足立基成所長
- ②発表「日本の現在の状況について(Current situation in Japan)」  
ビジット・ジャパン大使 Mr. George Lim
- ③意見交換「日本旅行の促進方策について(How to promote Japan bound trip)」

(セミナー参加時の聞き取り等)  
(菱田調査役 兵庫県派遣)